

## 第 2 回 3 次元総プロ委員会議事要旨

○国土地理院より、参考資料 3 に基づき今回の研究課題の概要について第 1 回の委員会同様に説明した。

○国土地理院より、資料 1 に基づき、「屋外 3 次元空間における高精度衛星測位の適用拡大のための技術開発」について説明した。

これに対して、委員から比較手法について質問をいただいた。これに対して、説明者より、より詳細な内容を回答し、ご納得をいただいた。

また、構成員から測位の実行時間について質問をいただいた。これに対し、説明者より比較評価のところで行っている旨回答した。

○国土地理院より、資料 2 及びその参考資料集に基づき、「屋内測位の精度向上・屋内外シームレス化に関する技術開発」について説明した。

これに対して、委員から実証実験の方法などについて検討してはどうかという旨指摘をいただいた。

また、委員から、セキュリティへの対応策をとる必要があるのではないかという旨指摘をいただいた。

さらに、委員から、作成時にレベルを作り、レベルに応じた責任の追い方をガイドラインに明記してはどうかという旨指摘いただいた。

○国土地理院より、資料 3 及び資料 4 に基づき、「3 次元地図の整備・更新技術」及び「3 次元空間モデリングシステムの構築」について説明した。

これに対して、委員から BIM/CIM と 3 次元地図の関係性についてなどの旨質問をいただいた。これに対し、国土地理院からこれらと関連付けられるとの旨回答した。

また、委員から、SFM などの先端分野は、変化が目まぐるしく、専門とする先端の研究者にきかないとわからないのではという旨ご指摘いただいた。

○次回の委員会は来年度の夏ごろを予定し、また位置情報基盤ワーキングについては来年度 3 回ほどの開催を計画しており、これまでの状況や来年度の進捗状況を検討して進めることになった。